

2022年

会員生協総代会報告

第45回通常総代会

2022年6月18日(土)
福井県自治会館
多目的ホール

福井県
医療生協

第45回通常総代会を開催しました

福井県医療生協の第45回通常総代会が、6月18日に福井県自治会館 多目的ホールにおいて開催。「2021年度活動のまとめと事業報告及び決算・2022年の運動方針」をはじめとする議案の提案があり質疑・討議を経て全議案を採択しました。総代会では、天津理事長のあいさつに続き、佐野専務より、昨年一年間の健康づくり、まちづくり、組織づくりの振り返りと事業所の経営到達の報告、2022年度の活動方針と事業計画および予算、役員選任等の提案がされました。続いて大久保裕介監事より監査報告があり、会場からの質疑を受けました。

天津理事長はあいさつの中で感染対策に配慮しながら、医療生協らしい活動ができることを目指し、健康づくり、まちづくりでは、地域のおんしんネットワークを広げること、地域丸ごと健康づくりを検討すること、暮らしの助け合いの輪を広げることが重要なテーマとアピール。地域のひととのつながりを絶やさず、困難な人がいれば手を差し伸べられるような結束力を持ちましようと言いました。写真は、あいさつする天津理事長と採決時の様子。



第44回通常総代会

2022年6月23日(木)
フェニックス・プラザ
小ホール

福井
県民生協

人と社会に思いやりのある生協をめざします

6月23日(木) 福井市のフェニックス・プラザ 小ホールにて第44回通常総代会を開催しました。コロナ禍のもと感染防止対策を行い、出席総代133人、書面議決書による出席354人の合計487人(採決時)の出席により、第1号から第4号議案の全議案が賛成多数で可決承認されました。

松宮理事長あいさつののち、来賓9人を代表して櫻本福井県副知事よりご挨拶をいただきました。議事では4議案を中川専務理事より提案し、8人の総代からいづれも前向きな発言をいただきました。



第65回通常総代会

2022年6月18日(土)
福井県教育センター
4階 大ホール

福井県
学校生協

第65回通常総代会を開催しました

2022年6月18日(土)、福井県教育センター 4階 大ホールにて、第65回通常総代会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し開催しました。次の4つの議案を承認いただきました。

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算関係書類承認の件
- 第2号議案 役員選任の件
- 第3号議案 令和4年度事業計画及び予算決定の件
- 第4号議案 役員報酬決定の件

令和4年度の主な事業計画

1. コンプライアンスに沿った組織運営を行い、現職組合員の拡充と退職継続組合員の管理を進め、組織の活性化を目指します。
2. 事業を継続するため経営数値の改善を図り、学生協として協同と連帯に貢献できる人材の育成を進めます。
3. 社会構造の変化に対応した事業の再構築を進め、事業剰余金での黒字を目指します。
4. 全国組織として協同と連帯をさらに推進し、教職員を取巻く内外の関係団体との提携を進め、各地の被災地の復興に貢献します。



第65回通常総代会

2022年6月27日(月)
(一財) 福井県教育センター

福井
県庁生協

第65回通常総代会 3年振りの実参集による開催

県庁生協第65回通常総代会は、6月27日(月)午後3時30分から、福井県教育センターに於いて、本人出席13名、委任状26名、書面議決50名、合計89名(総代総数120名)の出席を受け開催されました。



田邊理事長の挨拶の後、前川県民安全課長からの祝辞を受け、丹羽宏総代(和敬学園)を議長に選出し、議事が進められました。事務局から提案された各議案は、賛成多数によりすべて承認可決されました。

新型コロナ感染拡大の影響により、昨年度に引き続き各売店の来店者数に大きな影響がありました。また、福井県や各種団体が主催する会議やイベント等も自粛され、お茶や弁当などの受注は非常に厳しい状況でしたが、県のコロナ対策チームからの感染対策関連の需要が大幅に増え、店舗供給全体では大きく伸長しました。

2022年度は、働き方や環境の変化などによる来店者の減少をどれだけ抑えられるかが新年度の大きな課題と考え、これまでの事業に加え、新たな手数料事業の開拓にも力を入れたいと考えています。

全体的には、アフターコロナを見据えた営業戦略の立案が必須となるため、分野別課題の克服に取り組みます。

第52回通常総会開催

2022年2月23日(水) 菅浜農改センター

菅浜
生協

組合員の利用なくして生協の存続なし — 全ての議案が可決承認 —

去る、2月23日(水) 菅浜農改センターに於いて第52回通常総会を開催いたしました。今年の総会はコロナ禍に対応し昨年に続き「書面による議決権行使」方式となりました。塩野議長の進行のもと、全ての議案が原案通り可決承認されました。令和3年度は作業服の大量受注があったものの、新型コロナ感染対策による外出自粛や各行事イベントの中止、大型工事終了に伴う工事関係者宿泊客の減少、大型スーパーやドラッグストア等購買網の多様化、緊急事態宣言を受けた8月以降の海水浴駐車場の閉鎖の影響で供給高が計画100,000千円に対し実績88,835千円と対計画比11%減となりました。

これに対し福井県・美浜町支援金50万円、夏限定で徴収の駐車料金の6月からの年間徴収開始、3度の焼きさば、移動販売車の店前での販売、2年ぶりの生協祭りの開催等営業促進努力を行う中で、従業員賞与の減額、役員報酬返納、諸経費削減等により経営悪化を組み止める対策をとりましたが、最終的には当期損失金394万円を計上しました。

令和4年度もコロナ禍が続くようであれば、厳しい状況が続きますが、通期駐車場の開設、季節に応じたイベントの開催、予約注文販売の拡大等、積極的な運営を行い、供給目標額9,900万円の達成に向け、役職員一同努力致します。当生協が安定経営を継続していくには、やはり組合員の皆様にご利用頂くことが一番重要でありますので、今後とも組合員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第68回通常総代会

2022年5月25日(水)
福井大学 文京キャンパス
共通講義棟 K310教室

福井大学
生協

第68回通常総代会を開催しました

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、対面での開催を検討しましたが、会場の人数制限が解除にならず、今年度も書面議決推奨(対面参加可)という形で開催しました。



総代総数110名の内、本人出席18名、書面出席76名、代理出席0名の合計94名の出席を得て、成立いたしました。

定款の一部改訂(出席総代の3/4以上の賛成)を含む6議案すべての議案が賛成多数で議決されました。

昨年度2021年の決算の特徴としては、総供給が5億4,380万円で、予算比+0.58%、前年比+32.3%と大きく伸張しました。特に、大学からの注文が増えた校費需要、サービス部門の自動車学校の需要が大きく影響しています。剰余率の低い2つの分野の伸長により、事業剰余は▲1,196万円となり、昨年より大幅に改善したとはいえ、厳しい状況が続きました。

2022年度は、4月から学生が戻って来ているため、大幅な事業改善が見込まれますが、物価の上昇が多くの分野で影響を与えることが予想されており、まだまだ楽観できません。

2022年度 第1回地区推進 委員会を開催 しました

福井県
労済生協

I. 地区推進委員会において2022年度推進活動の 最重点課題を討議

2022年6月に県下3地区で推進委員会を開催し、2022年度推進活動の最重点課題などについて討議を行いました。

基本方針(コンセプト)

『お役立ちと共創活動』による深く・長く・広い関係づくりに向け、お役立ち発想と共創活動により、組合員の暮らしの豊かさや安心を高め、幸せな生活を実現させることを目的に、組合員や協力団体等と一緒に「助け合いの輪」をむすぶ活動を行います。

2022年度推進活動の重点課題

- ①社会課題への取り組みと連動した活動を展開します。
- ②事業領域(チャネル)ごとの「深さ(複合加入)」「長さ(継続利用・流出抑制)」「広さ(新契約)」に応じた活動を展開します。
- ③各種取り組みと連動した「マイカー共済」「団体生命共済」を中心とした推進活動を展開します。
- ④組合員との多様なコミュニケーション手段の確立をはかります。

II. 「新型コロナウイルス感染症」のお支払い状況

現在も全国的な感染拡大が続いている「新型コロナウイルス感染症」について、感染された加入者への迅速な共済金支払いに向けた対応を行っています。福井県および全国でのお支払い状況は以下のとおりです。(2020年3月～2022年6月累計)

福井県 請求受付件数: 1,126件、お支払い共済金額: 約5,099万円
全 国 請求受付件数: 214,008件、お支払い共済金額: 約122億9,480万円

福井県労済生協の総代会は、7月28日に開催されました。次号に掲載します。